

# 大崎市図書館 来楽里ホール



地中熱

贈呈理由

## 地中熱ヒートポンプの導入により、 省エネルギーと安全で快適な環境を実現



大崎市図書館

### 街のシンボル、市民の文化交流の場として開館

大崎市図書館は1978年に開館、その後、老朽化や狭隘化の理由で新たな教育施設の整備を望む声が多かったことから、2017年7月20日に新たに開館した。

「来楽里ホール(きらりほーる)」は「知の揺りかご、メディアの交差」を基本コンセプトに市民から公募した愛称で、「集まる人々の笑顔がキラリと光るといいな」という願いが込められている。

新しい図書館は鉄骨+鉄筋コンクリート造2階建てで、内装の一部には大崎市鳴子産のスギ材が使われており、吹き抜けや大きなガラス窓などで開放的な空間となっている。

蔵書数は開閉架の合計で約40万冊が収容可能で、館内には学習施設や200人が収容できる多目的ホール、キッズルームやカフェなどが併設され、

街のシンボル、市民の文化交流の場としても利用されている。

### 環境への負荷が少ない循環型社会を目指して

大崎市は、自然との共生や環境への負荷が少ない循環型社会の形成に取り組んでおり、大崎市図書館においても地球温暖化防止に貢献する無駄のないエネルギー利用、自然の恵みを活かす自然エネルギーなどの導入促進の観点からパッシブデザインを基本に、自然採光の他、再生可能エネルギーである地中熱や空気熱を利用した空調システムを採用している。

熱源構成は地中熱を利用した水冷ヒートポンプチラーと吸収式冷温水機を組み合わせた構成としており、環境保全や省エネルギーに配慮したエネルギー利用を実現している。

今後も、子どもから高齢者まで、さまざまな世代がゆったりと読書を楽しむ

ことができ、知識・情報・人などが、さまざまな媒体や手段を通して交差しあう、大崎市らしい文化の拠点となるような図書館を目指していく。



地中熱対応水冷ヒートポンプチラー

#### 大崎市図書館 来楽里ホール

所在地：宮城県大崎市古川駅前大通4-2-1  
建築設計：株式会社総合計画 東北オフィス  
建築施工：村田工務所・荒谷土建 共同企業体  
設備設計：株式会社総合計画 東北オフィス  
延床面積：6,335㎡  
竣工：2017年新設

#### ■ 設備概要

地中熱対応水冷ヒートポンプチラー 67.5HP×1台  
【ゼネラルヒートポンプ工業】